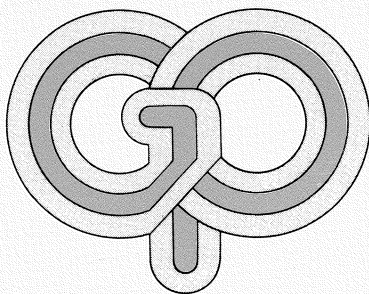


# 岐阜県の プラスチック



工業組合の総会開き、新理事長に大松氏を選ぶ  
10月7日に組合創立25周年の記念式典を行う  
来春から「週40時間労働時代」に入る  
労働省がプラスチック業界の時間短縮指針を策定

デザインのすすめ  
組合員の工場訪問  
事務局だより



# 新理事長に大松氏を選ぶ

## 工組とデザイン協会の総会開く

### 役員改選、武藤理事長は顧問に

岐阜県プラスチック工業組合は、5月28日午後、岐阜市内にある岐山会館で『第25回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第31回通常総会』を開催した。工業組合の議題は①平成4年度の事業報告・収支決算②平成5年度事業計画・収支予算③平成5年度の賦課金及びその納入方法について④平成5年度の取引金融機関及び借入金最高限度額⑤任期満了による役員改選――など5議案である。

このうち役員改選では、新理事長に大松利幸氏、副理事長に児玉俊一、大野實、日比勝次の3氏をはじめ、理事、監事を選出するなど、新体制を整えた。

#### 賛助会員制度発足と 創立25周年記念の年

通常総会は大松副理事長の開会あいさつで始まり、続いて武藤理事長が「この一年は不況対策に明暮れ、組合員各位は経営に大変苦勞されたと思う。最近になってやっと在庫調整も終わり、景気に底入れの声が聞かれ、ほっとしているところです。ところが今日の円高、さらには政局の不安などが重なり、まだまだ予断は許されません」と経済の現況を報告した。

続いて「工業組合は理事会が中心になって賛助会員への加入を勧めてきたが、34社から申し込みがあり、この新年度からスタートしました。ちょうど今年には組合を創立して25周年目の意義ある年、賛助会員企業の組合に対する協力と理解を高め、岐



事業計画や予算を承認した総会。下は大松新理事長の挨拶

岐阜県プラスチック業界の振興と組合員企業の発展に役立てていきたい」との現況を報告した。

### 事業計画、予算など全議案可決

議事は①平成4年度の事業報告と総額6,100万余円にのぼる平成4年度の決算②11項目にのぼる平成5年度の事業計画と総額5,222万円の収支予算③平成5年度の賦課金及び納入方法の議案を審議、原案どおり可決した。

このうち平成5年度の事業計画は

①指導教育事業は、県・県工業技術センターなどの関係機関の協力を得て、講習会、見学会などの事業に積極的に参加する。また、県職業能力開発協会からの受託事業である「プラスチック成形射出成形作業」および「プラスチック成形用金型製作作業」の技能検定試験を実施、技術の向上に努める。さらに技能検定試験の合格率向上、併せて技術レベルの向上を図るため組合自主研修事業「プラスチック成形技能士への挑戦」を実施する。

②情報提供事業は、会報「岐阜県のプラスチック」を年6回発行し、工業技術センターが発行する「技術情報ぎふ」を配布するほか、組合

員に必要な国・県の施策などを情報提供する。

毎月の定例役員会の協議事項や組合運営を各組合員へ知らせる。

③共済事業ではディーラーや取扱店と提携し、銀行口座引き落としによる自動車購入ローンを実施。また、共同購買事業では組合員の事業活動のための離型剤、金型用棚、事業用什器備品などの希望品目の共同購入を実施し、企業活動の効率化を図る。

④金融事業は組合員からの必要に応じ、県・政府系金融機関に対し、借入や設備機器などのリースあっ旋を実施する。

⑤事務代行事業は、組合員に代わって労働保険の事務委託（労働保険事務組合の認可済み）など業務を行う。

⑥調査研究では適切な情報を組合員に提供するため会報記事の収集、中小企業施策担当の諸団体と連絡協調して収集、提供する。

⑦福利厚生事業では、組合間の交流・連携促進を図るためレクリエーション、新年互礼会、慶弔見舞い、各種保険の特約店業務などを通じて、組合の円滑な業務と活性化を図っていく。などの事業を行うなど。

## 10月7日に25周年の記念式典行う

### 工業組合の新規事業として4事業に取り組む

とくに今年度新しく取り組む事業としては

⑧平成5年度は組合創立25周年、また、賛助会員制度がスタートしたことなど組合活動のさらなる発展を期し、10月7日午前10時から岐阜グランドホテルで記念事業（式典、組合功労者表彰、講演、パーティー）を実施する。

⑨組合員の技術向上、経営の合理化をめざし10月25～26日に東京・晴海で開催される「JP93-第15回日本プラスチック・ゴム見本市」を特別貸切りバスを仕立て視察研修する。近く

参加者を募集する。

⑩平成6年4月の労働基準法の改正をひかえ労働時間短縮について業界ぐるみで検討する。とくに中小企業の時間短縮が遅れていることから各種の情報・資料の提供をえて取り組み方を研究する。（関連記事6～7頁に）

⑪プラスチック廃棄物の処理・再資源化対策を検討する。社会の要請に応えるもので、安全・環境・公害などの関係法令の周知徹底に努め、関係行政機関とともに対応策を検討する。

# 工業組合の新役員が決まる

## 大松理事長はじめ理事13人と監事2人を選ぶ

第25回通常総会の席上で行われた任期満了に伴う工業組合の役員改選は、選考委員による推薦方法で行い、新理事長に大松利幸氏を選んだのははじめ次の各氏を選出した。

就任にあたって大松新理事長は「プラスチック業界は岐阜県七大産業の一つに位置付けられており、工業組合は確固たる地位を築いていく責務がある。組合活動の強化と組合員企業の努力で、一層の振興を図りたい」と挨拶した。

なお、武藤昭三・前理事長を顧問に選んだ。

(任期は平成5年5月29日から2年間)

### 《顧問》

武藤 昭三 (ムトー精工(株))

### 《理事長》

大松 利幸 (岐阜プラスチック工業(株))

### 《副理事長》

児玉 俊一 (コダマ樹脂工業(株))

大野 實 (株東海ポリエチ工業所)

日比 勝次 (大垣プラスチック工業(株))

### 《理事》

林 貢一郎 (岐阜産研工業(株))

久世 幸博 (有久世樹脂工材)

三輪 嘉人 (三光合成(株岐阜工場))

岡部 修二 (シーシーアイ(株))

清水 昭市 (有清水樹脂)

田部 将行 (天龍工業(株))

納土 栄一郎 (東和化成(株))

杉山 元彦 (パール化成品(株))

松田 興市 (ムトー精工(株))

### 《監事》

篠田 哲 (岐阜技研ポリマー(株))

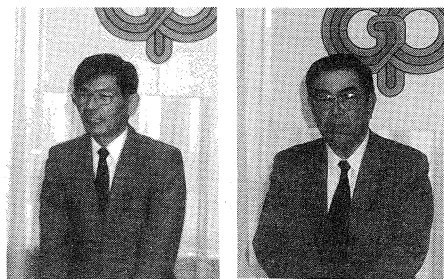
武藤 幸平 (株武藤化成工業所)



あいさつする大松新理事長

## プラスチックデザイン協会も総会

続いて岐阜県プラスチックデザイン協会の第31回通常総会を開き、平成5年度の事業計画と予算を決めた。年間予算は12万円で①デザイン講習会②デザイン関係の基礎資料配布③デザイン関係の異業種交流参加ーなどを実施する。



左から坂口氏と羽淵氏

## 来賓が不況乗切りで組合員を激励

工業組合は総会の席上、来賓を多数招いた。坂口県中小企業指導課長は「商工労働施策は景気対策につづいて円高対策を重点としておりこの施策を活用し、苦況を乗り切ってほしい」また、羽淵中小企業団体中央会副会長は「不況に円高、さらにリストラなどと産業構造の変革期に直面、経営は大変困難な時期にあるが、一層、組合活動の強化を期待する」と激励した。

## 独自技術の確立を期待

### 今年の中小企業白書に示された課題

『中小企業白書』が例年より一カ月早く発表された。示された内容を見ると、まず、平成不況に大きく揺れる中小企業の業況を分析したあと①平成の景気変動と中小企業②経済社会の構造変化と中小企業の対応③長期的に見た中小企業構造の変化と今後の課題の項目に分け、中小企業経営における質的变化を指摘している。

低迷していた景気に明るさが見え始めた矢先に、新たにいくつかの問題点や今後の課題を浮き彫りにしている。確かに、かつての中小企業の宿命的な弱さや暗さは後退したものの、激しい構造変化の中では安心できない材料はまだ多く、中小企業経営は厳しさの連続、一息つく間もないといえよう。

白書が指摘する第一点は「若者の製造業離れの傾向が強まる中で中小企業の人材確保の先行き不安は大きい」ことである。中小企業が確保したいと考えている人材は、将来の後継者や幹部候補生となる正規従業員や新規の学卒者。職

種としては経営管理や企画部門の要員、さらには研究・技術部門への需要が多い。しかし大企業もこうした部門の採用を減らしておらず、中小企業の人材不足はいぜん解決していない。

第二点は「今回の景気低迷で機械、電機など機器製造業を中心に、大企業はリストラクチャリング（事業の再構築）を進め、従来の大企業を頂点に中小企業を抱えるピラミッド型分業構造に変化が生じてきた」こと。

すでに海外調達拡大や製品の種類を絞り込み、部品の共通化などを通じて「下請け企業の選別化が進んだ」と分析している。人材不足とともに、こうした動きも中小企業の物づくり技術の脆弱化に拍車をかけている。

このため独自技術の確立や異業種交流による新規分野の開拓、取引先の分散化などの対策が必要だとしている。

白書は最後に、中小企業は中長期的な視点から構造問題を把握し①労働環境の整備と人材の育成②国際化の進展と地球環境問題への対応③中小製造業における基本的な物づくり技術の維持・育成などを提案している。

## 三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

**NOVAMID**

ポリカーボネート樹脂

**NOVAREX®**

PBT樹脂

**NOVADUR**

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

**NOVATEC**

高圧ポリエチレン

**NOVATEC-L**



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル  
電話 03(283)6320(大代表) (千100)

# 来春から週40時間労働時代に入る

中小企業の猶予措置は平成9年3月まで

労働時間の短縮を柱とする『労働基準法改正 中小企業や猶予対象業種は、平成9年3月末まで案』が国会で可決され、成立した。来年の4月 での間、週44時間以下とする猶予措置を設ける1日から法定労働時間

間を週40時間（現行週44時間）にするもので、政府が生活大国5カ年計画で掲げた「年間1,800時間労働」に向けて一歩踏み出した。

大企業を中心とする産業界では、ほとんど週40時間労働制へ移行しているが、

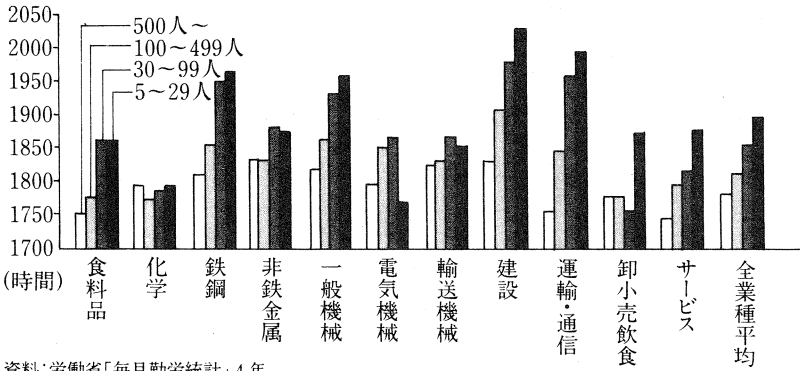
時短への対応が遅れている中小企業や運輸、建設業などの対応が待たれる。政府としては、中小企業と猶予対象となる業種については猶予措置を講ずるなど、週40時間労働制への移行を円滑に進めていく方針である。

## 猶予措置の間は44時間

改正案の主な内容は①法定労働時間を平成6年4月から週40時間に短縮する②

業種別年間所定内労働時間の現状(規模別)

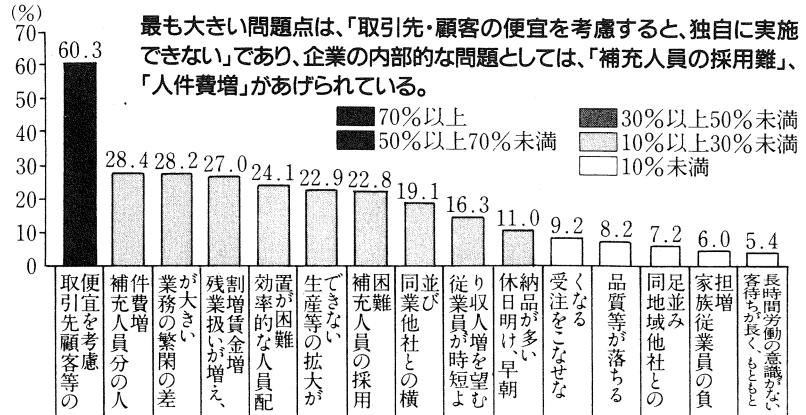
所定内労働時間の規模間格差は、近年、縮小傾向にあるが、従業者5人から29人の事業所と500人以上の事業所との間には、依然、約100時間以上の差がある。



資料:労働省「毎月勤労統計」4年

## 労働時間短縮の問題点

最も大きい問題点は、「取引先・顧客の便宜を考慮すると、独自に実施できない」であり、企業の内部的な問題としては、「補充人員の採用難」、「人件費増」があげられている。



業種	取引先・顧客の便宜を考慮する	補充人員の採用難	業務の繁閑の差が大きい	残業代が増え、残業扱いが増え	効率的な人員配置が困難	生産等の拡大ができない	補充人員の採用困難	同業他社との横並び	従業員が時短を望む	休日明け早朝	納品が多い	受注をこなせない	品質等が落ちる	同地域他社との足並み	家族従業員の負担増	客待ちが長くもたない	長時間労働の意識がない
製造業	35.9																
卸売業		23.9						27.0									
小売業							28.7										
飲食店																	
サービス業	59.3		27.9														
建設業	28.0																
運輸業																	

資料:中小企業庁「雇用人材問題実態調査」4年12月

③時間外・休日労働の賃金割増率は、当面政令で週1回の法定休日だけ25%以上50%以下の範囲を定め、引き上げる④年次有給休暇は、5カ月以上継続勤務したものに最低10日付与する一などである。

### 省力化や合理化などの工夫が必要

このように労働基準法の改正によって、平成9年度からはすべての企業が週40時間労働に移らねばならなくなる。労働省では中小企業と時短が遅れている業種に対し、段階的に指導する方針で「とりあえず現行週46時間の業種（プラスチック業界など中小製造業）や企業規模を特

定し、平成6年4月から週44時間に短縮するよう求めていく」としている。

中小企業にとって労働時間短縮は、不況克服につづく新たな経営課題となった。その際に直面する問題は「取引先・顧客の便宜」や「同業他社との横並び」を意識する外部との関係、さらに「補充人員の採用難」「人件費増」などの内部的な問題もある。

しかし、時短が人材の採用や定着に欠かすことができないとすれば、業態に応じた省力化や合理化など業務上・人事上の工夫、関係者との連携、取引先の理解と協力を得るなど、多面的な対応策に取り組みざるを得ないといえる。

## 労働省が時間短縮へ指針を策定

### プラスチック製造など3業界に早期達成を要請

労働省は、このほどプラスチック製品製造業、金属プレス製品製造業、建設用金属製品製造業の3業種について「労働時間短縮指針」を策定し、業界の各企業が自主的に取り組みを促進していく。したがって①当面の労働時間短縮目標②目標達成に当たっての基本的な対応策③労働時間短縮のために、業界および企業が取り組むべき課題一などが盛り込まれている。プラスチック製品製造業の指針概要は次のとおりである。

プラスチック業界の平成4年の全国労働者一人当たりの総労働時間は、2,030時間。全産業平均に比べると、98時間も多い。

今後の時短目標は、週休二日制を拡充しつつ年間所定休日日数の増加を再重点目標とする。目標は①完全週休二日制実現のため平成5年度末までに年間所定休日日数を104日以上とする②年末、年始、ゴールデンウィーク、夏季などに、それぞれ1週間以上の連続休暇を設定する③年次有給休暇の完全取得を目指すとともに平成5年度までにすべての企業で、最低付与日数

を10日以上とする④年間所定外労働時間を段階的に削減、150時間程度になるように、毎年10%ずつ削減していく一など。

業界が取組んでいく内容では①労働時間短縮推進体制を整備し、講習会、アンケートの実施を行う②各地域で共同推進体制を整備する③関係業界に対し、計画的な発注や適切な納期の設定など、取引条件について理解・協力の推進に努める④合理化・省力化設備についての研究や指導を実施し、生産性や付加価値向上対策を推進する一など。

企業が取り組む課題では①労働時間短縮を推進する時短推進委員会の設置など労働時間短縮推進体制を整える②年次別の労働時間短縮推進計画を策定、着実に短縮を図る③発注元に対し、短納期発注の抑制などについて理解と協力を求める④発注先は、下請企業の労働時間の短縮を阻害するような取引条件をつけないなど、必要な配慮を行う一などの目標を定めている。

## 外国人労働者に理解を

### 外国人労働者問題啓発月間で

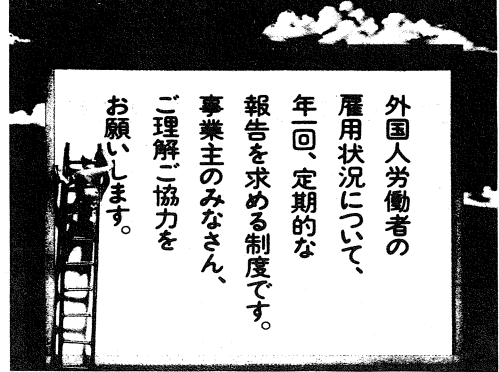
政府は6月を『外国人労働者問題啓発月間』とし、来日外国人労働者に対する正しい理解と雇用状況の報告など協力を呼びかけている。

現在、岐阜県下における外国人登録者数は年間1,500人ペースで増加、昨年の12月末には2万人を超え、全国12番目を記録し、増加基調は今後も続くものと思われる。

こうした国際化の進展に伴い「暴力団や悪質斡旋ブローカーの介在事犯の増加」「来日外国人が被害者となる犯罪や交通事故の増加」「生活習慣の違いによる地域住民とのトラブル」などが増えている。このため法務・警察・労働三省庁は、事業主にに対し、

- ①外国人を雇用する場合、適法に働くことができる外国人かどうか旅券、就労資格証明書などで在留資格や在留期間を確認する。
  - ②留学生や就学には、資格外活動があるかどうかを確認する。
  - ③関係する外国人に日本の道交法、110番、警察制度をはじめとする法制度を教示する。
  - ④地元警察署などから企業への紹介や要請があった場合協力する。
- などを要請している。

調和のとれた国際社会をめざして、  
新制度がスタートします



### 外国人雇用状況の報告に協力を

ハローワーク岐阜（岐阜公共職業安定所）は6月1日から「外国人雇用状況報告制度」が創設されたことにより、外国人労働者を雇用している事業所は報告する協力を求めている。

この報告は職業安定法の施行規則による外国人労働者の雇用動向を把握するもので、外国人労働者の失業予防・再就職の促進など適正な雇用管理と労働条件の確保に努めるのがねらい。したがって研修生や永住が認められている人は対象にならない。報告書用紙は工業組合か公共職業安定所まで。また、問い合わせは職業安定所の外国人労働者専門官まで。

ポリエチレン

**スミカセン。**

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

**エバテート。**

ポリプロピレン

**住友ノーブレン。**

ポリスチレン樹脂

**エスブライト**

塩化ビニル樹脂

**スミリット。**

メタアクリルシート

**スミペックス。**

メタアクリル樹脂

**スミペックス-B。**

高密度ポリエチレン

**スミカセンハード**

熱可塑性エラストマー

**住友TPE**

合成ゴムSBR

**住友SBR**

合成ゴムEPR

**エスプレン。**

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

**スミグラフト。**



**住友化学工業株式会社**

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 (052) 201-7571



## 人事・労務管理のセミナー開催

岐阜県商工労働部と岐阜県中小企業団体連合会は、7月23日午後1時から、岐阜市内の岐阜長良川ハイツで「よりよい人事・労務管理セミナー」を開催する。

セミナーの内容は、まず、岐阜労働基準局の神田義宝監督課長から「労働時間の現況および対策」についての概要を聞いたあと①武藤泰明・三菱総合研究所経営環境研究室長の「時間短縮と経済社会」②秋田美津子・ワシントンホテル宴会営業推進部長の「人の生き方、活かし方」～などの講演を聞く。

出席希望は7月16日までに、電話などで岐阜県庁労政課（0582-72-1111 内線2652～2653）か各県事務所の産業労働課へ。

## 夏の暑さを避け、ほっとウィーク

岐阜労働基準局は「ほっとウィーク」をキャッチフレーズに、夏季連続休暇の促進を呼びかけている。

連続休暇の定着は、完全週休二日制の普及促進や年次休暇の完全取得の促進とともに労働時間短縮を実現していくもの。とくに夏は暑さのために疲労が蓄積しやすく、十分な休養が必要である。したがってスポーツ、レジャーなどを

通じて「家族とのふれあいを深めるよい機会」になることに意義があるという。

ほっとウィーク取得の考え方としては①1週間以上の連続休暇の実施②事業場全体、班別の交替制など年次休暇の計画的取得～など、企業の実情に応じた工夫が大切という。

## 緊急経営支援資金の融資枠を拡大

岐阜県は総額194億円にのぼる6月補正予算を組み、県議会に提出した。公共投資の大幅追加、中小企業向けの緊急融資、円高対策として輸出企業への救済資金融資が主な内容。

緊急融資は円高の打撃が大きい輸出関連中小企業を救済するため、新たに「輸出関連企業円高対策資金」を設けるもの。融資枠は10億円で、最近1年間の輸出向け製品の生産額か販売額が10%以上減少、最近3カ月の売上額が前年同期比で10%以上減少した企業、また、次の緊急経営支援資金の融資対象でないことが条件。

緊急経営支援資金は、これまで融資条件が3カ月で15%以上の売上減少、6カ月間で10%以上減少などとしていたが、今回は輸出額が親事業者との取引額が3カ月間で15%以上、6カ月間で10%以上減少するか、確実に減少する見込みなどの項目を追加している。融資枠は20億円追加し、80%億円に拡大した。

**TOSHIBA**

**東芝機械株式会社**

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

# 豊かなデザインー 1 リサイクルデザイン

岐阜県プラスチックデザイン協会

■「良いデザイン」とか「売れるデザイン」とか、デザインのあり方が企業内で議論されることはありませんか。今年度のこのコーナーでは“豊かさ”をキーワードとして、デザインのあり方を見直してみたいと思います。ただし、ヤブニラミ的独断偏見視点を覚悟して下さい。

●さて、良いデザインの象徴であるGマーク制度にも「地球にやさしいデザイン賞」がありますが、究極の優しさは自然物を加工してモノを造らないことです。たいへんな難問です。パバネックが指摘したように、デザインの本質的価値が“行為を、望ましい予知できる目標に向けて計画し整えること”にあるなら、デザイナーはリサイクルを考えたデザインをするのが当然の義務となります。

私たち年代がデザインを勉強していた時代にオイルショックが起き、このリサイクル問題を取り上げた課題がブームとなりました。あれから、果たして社会はこの問題に対してどれだけの取り組みを行って来たのでしょうか？

近ごろは、公的機関が率先して再生紙を利用したり百貨店が過剰包装を中止したりする動きが出て来ました。ところが現実には、新品の方が再生紙より安いので利用が減り、回収システムが壊れ始めています。テレビCMで「やわらかいほうの～」と横着を決めているオンナがいますが、当家では悪評です。でも、もらったとかで、くだんの

モノを使っているわけです。

また、山間地へ行きますと廃棄物処理場の札と得体の知れないゴミの山、川や海岸では、たくさんの腐らないゴミが目につきます。

ドイツでは、あふれるゴミを処理できなくなり、製造企業の責任で回収し再利用する法律とリサイクルのシステムをつくりました。

一方、日本はどうでしょうか？物質的には豊かですが、かつての自然と共に暮らす豊かな心は失われて来たのでは。今こそ、子孫にゴミを残さないために、社会システムを含みリサイクルデザインを行い、本当の豊かさを取り戻す時期ではないでしょうか？皆さんの素材プラスチックは優れた素材で、現在の社会には不可欠な存在です。この素材がリサイクルの悪者にならないためには、再利用がたやすく回収システムを機能させることができるデザインが、今後重要な要素となって来るでしょう。

〔岐阜県工業技術センター パーマン〕

※参考「生きのびるためのデザイン」

晶文社 1974



## リスク乗り越え廃プラ処理に徹す

### (有)瀬口化学工業

新年度最初の工場訪問は、一番新しい組合員である(有)瀬口化学工業(美濃市乙狩1302番地の3、資本金300万円、瀬口幹博代表取締役)を訪ねた。工場は板取川を遡り、洞戸村に近い支流に沿って滝神社へ向かったところ。滝神社といえば、高賀信仰で知られる高賀山系の6社の一つで、昔は由緒ある山岳信仰の聖地であった。

その板取川を隔てた南側には、組合員の清水樹脂や兎山樹脂の工場がある。瀬口さんの入会は清水さんの紹介で「美濃市のプラスチック関係企業ばかりで活動する工業会で一緒になり、工業組合の話聞いたからです」という。

### 最初は自宅に粉碎機を備え創業

瀬口さんがプラスチックと関わったのは、同じ美濃市内にある美濃化学工業の用車係として勤務していた時。廃プラスチックを運搬している間に「リサイクル事業のコツを覚え、吉田社長の保証で資金をつくり独立した」と話す。



近く工場を拡張し、再生ペレットの生産も開始する

この時が昭和51年、当初は自宅の敷地に粉碎機を備え、成形工場から出る廃プラの再生処理にあたった。しかし、リサイクル事業は樹脂の市況や成形加工業界の動向に左右されるなど、リスクは多く、工賃稼ぎだけでは利益は上がらない。そのうえ「原料の廃プラ置場が周辺の環境や美化を害し、騒音を発生する」とあって、リサイクル事業の苦勞とは裏腹に、苦しい経営が続いたという。

### 2人の息子に恵まれ工場を拡張

幸い、3人の息子が育ち、岐阜へ就職した次男の恵視(23歳)三男の博之(21歳)が相次いでUターン、家業を手伝ってくれることになった。これに励まされた瀬口さん、山沿いの工場用地約2,600平方メートルを購入、平成3年に約300平方メートルの処理工場と事務所を建設、再生事業はようやく軌道に乗ってきた。同時に個人会社を有限会社とした。

工場は50馬力と40馬力の粉碎機や裁断機が唸りをたて、廃プラを粉碎する。現在、主に扱うのはポリプロピレン、ポリエチレン、塩ビの3種類だが「付加価値を高めるために、近く押出機を設置、ペレットを生産したい」さらに「工業組合の総会に出席したが組合は新しく廃プラの処理や再資源化取り組むことを決めた。とかく廃プラは環境問題で誤解されがち。環境美化にさえ気を配って再資源化を進めれば、社会から支持されると思う」と瀬口さんは将来に向かって意気込む。

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

### □総会への出席有難うございました□

平成5年度の新事業計画やその事業予算を決める工業組合の『第25回通常総会』と『プラスチック・デザイン協会第31回通常総会』は5月28日、多数の組合員の出席を得て岐山会館で開きました。とくに総会後にはパーティー(写真下・岸上工業技術センターの音頭で乾杯)を開いて交流、懇親を深めました。



総会内容はトップ記事で紹介しましたとおり大松新理事長を中心とする新しい役員人事が誕生しました。事務局ではこの新しく組織された理事会のもとで、新事業計画に示された事業の数々に取組んでいきます。ご協力ください。

### □10月は創立記念式典とJ P 93見学□

今年の工業組合事業の中で、二つの事業開催日が決まりました。今からスケジュールを調整され、一人でも多くのご参加をお願いします。

その一つは工業組合の創立25周年事業で、記念式典を10月7日午前10時から、岐阜市長良川河畔の岐阜グランドホテルで開催が決ったことです。実施計画の詳細については理事会でプランを練っているところです。

二つめは、J P 93・T O K Y Oつまり第15回日本プラスチック・ゴム見本市の見学です。東京・晴海にある国際見本市会場で開かれるもので、見学会は1泊2日で、10月25・26日です。特別バスのため35人以上の参加を予定、近く募集案内をお送りします。

### □時短資金に国民金融公庫の資金を□

国民金融公庫岐阜支店は「労働環境ローン」と「時短促進ローン」を実施しています。労働時間の短縮に、省力化設備の導入は欠かすことができません。長期・低利の公庫資金を利用してください。

労働環境ローンは①週所定労働時間を2年以内に2時間以上短縮した事業者②使いみちは省力化設備、従業員住宅、食堂、託児施設など職場環境の改善に必要な資金、設備の賃貸料③融資額は6千万円以内、運転資金は4

千万円以内④金利は年4.4%～4.9%—が内容。

時短促進ローンは、完全週休2日制の導入や7日以上制度休暇の創設などで年間総労働時間を3%以上短縮した事業者が対象です。詳細は岐阜支店0582-63-2136まで。

## 岐阜県のプラスチック 1993 112号

平成5年6月15日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

## 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内 安之

# 出光の石油化学製品

ポリスチレン

スチレン系耐熱樹脂

ポリカーボネート

GFPET

ポリプロピレン

高密度ポリエチレン

直鎖状低密度ポリエチレン

カルプ®



## 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎052-204-6051~3

## ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

# P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館) ☎(052)581-0651

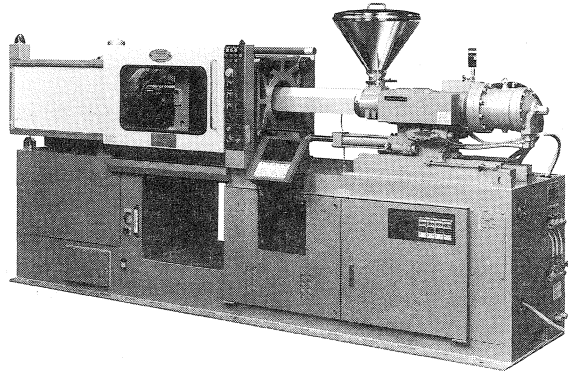
# 精密成形を支えるトータル思考。

NISSEIは精密成形の高付加価値化に射出成形機・金型・合理化機器・成形技術・材料・環境・ソフトウェア・情報管理などモノ創りを総合成形システムとして推進しています。

**NISSEI**  
**P**

**日精樹脂工業株式会社**

- 岐阜出張所 / 岐阜県岐阜市高部寺尾町2-40番ビル1F ☎0582-72-5952
- ★名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)
- 岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三朝ビル1F ☎0564-52-1430
- 三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716
- 本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎0268-82-3000(大代表)
- 東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・大阪・名古屋
- 営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国23ヶ所 ●海外サービスステーション / 26ヶ所



## ハイテクノロジーに挑戦

**MEIKI**

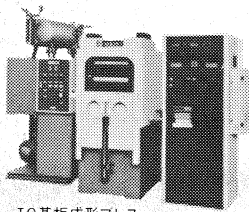
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



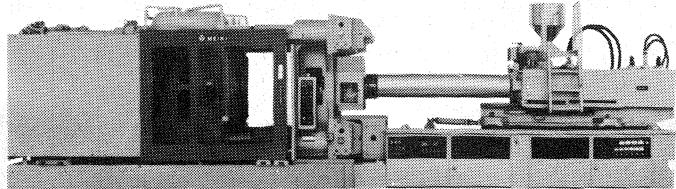
セラミック専用機



ディスク専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社 **名機製作所**

本社・工場  
〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎0562)48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は…

**JSR 合成樹脂ワイドセレクション**

**JSR ABS**

イッパンヨウ  
コウキノウ

**JSR AES**

タイコウセイジュシ

**JSR XT**

チヨウタイネツジュシ

**JSR NC**

ジコシヨウカセイジュシ

**JSR NF**

ジコシヨウカセイジュシ

**JSR MBS**

PVCキョウカヨウジュシ

**JSR EXCELLOY**

フクゴウガタイネツジュシ

**JSR CONDUCTOR**

ドウデンセイジュシ

**JSR AS**

コウキノウガタASジュシ

**JSR RB**

フタジエンジュシ

**JSR TR**

ネツカソセイエラストマー

**JSR SIS**

ネツカソセイエラストマー

**NYLON 46**

**NYLON 6. PET-G**

**MAXLOY**

コウキノウポリマーアロイ

**DYNA FLEX**

エラストマーケイフクゴウザイ

**LINK FLEX**

日本合成ゴム株式会社

**JSR**

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店 ☎(06) 203-0041

名古屋支店 ☎(052)571-1231

広島支店 ☎(082)221-7252



活きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト** <sup>R</sup>

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット** <sup>R</sup>

ABS樹脂

**ダイヤペット** <sup>R</sup> **ABS**

**三菱レイヨン**

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

# ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)

ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 **リス株式会社**

**岐阜プラスチック工業株式会社**

- 本社:岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部:各務原市前渡東町4丁目222番地

**岐阜プラスチックグループ**

- リス興業(株)
- 東北リス(株)
- 四国リス(株)
- リスパック(株)
- 東京リス(株)
- 九州リス(株)
- リス(株)
- 大阪リス(株)
- リスエンジニアリング(株)